



第4回常任理事会

日時 平成29年5月15日(月)18:00～18:45
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原両副会長、北野・三戸・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・笹本・櫻井各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事
 (事務局：安達局長ほか16名)

協議事項

第1号 平成28年度決算に関する件(北野常任理事)

平成28年度会計に関する決算財務諸表・内部管理資料等の説明と、併せて監事より内部・外部監査報告を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

第2号 平成28年度公益目的支出計画実施報告書に関する件(三戸常任理事)

本会は北海道公益認定等審議会により特例民法法人から一般社団法人に移行認定された法人として、同審議会が確定した本会の公益目的財産額に相当する事業実施が完了するまでは各事業年度の決算時に公益目的支出計画実施報告書を作成し北海道に提出する義務がある。平成28年度の計画事業終了により、北海道に提出する実施報告書の説明を受けたのち、提案どおり承認することと決定。

第3号 第149回定時代議員会ならびに第150回臨時代議員会〔6月17日(土)・18日(日)〕の開催に関する件(三戸常任理事)

6月17日(土)午後3時から第149回定時代議員会、6月18日(日)午前10時から第150回臨時代議員会を北海道医師会館8階会議室において開催することと、それぞれの提出議題を決定。

第4号 平成29年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件(北野常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員12名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため「事前確定給与に関する届出書」を税務署に提出することと決定。

第5号 第2回理事会〔5月20日(土)〕の議案に関する件(三戸常任理事)

5月20日(土)午後4時から北海道医師会館9階理事会室において、第2回理事会を開催すること、またその提出議題を決定。

報告事項

1. 監査報告(内部：津田監事、外部：藤瀬監事)協議事項第1号と併せて報告。
2. 各部報告

(1) 「第7次北海道医療計画」の策定に向けた意向調査について(笹本常任理事)

本年度は第7次北海道医療計画の策定年にあたるため、医療政策部として4月に各郡市医師会に同計画の策定に向けた意向調査を実施した。調査項目は①現行の二次医療圏について②5疾病・5事業について③介護に関して④地域医療計画を踏まえた次期医療計画について⑤その他の5つで構成され、小職から回答内容について報告を行った。

第5回常任理事会

日時 平成29年5月23日(火)18:00～19:17
場所 北海道医師会館9階・理事会室
出席者 長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・橋本・水谷・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・林・笹本・各常任理事、津田・藤瀬・篠島各監事
 (事務局：安達局長ほか13名)

協議事項

第1号 母体保護法指定医師の指定に関する件(三戸常任理事)

5月17日の審査委員会で指定可とされた、新規申請者2名、再審申請者2名の計4名を指定医師とすることと決定。

第2号 母体保護法指定医師研修機関の指定に関する件(三戸常任理事)

母体保護法指定医師が指定を受けるための研修機関として、申請のあった1医療機関を指定可とすることと決定。

第3号 日本医師会医師の働き方検討委員会の委員推薦に関する件(三戸常任理事)

藤井常任理事を推薦することを決定。

第4号 一般社団法人北海道ヘルスケアロボット協会理事の推薦に関する件(三戸常任理事)

藤原副会長を推薦することと決定。

第5号 日本医師会生涯教育講座等の認定に関する件(生駒常任理事)

申請のあった日医生涯教育講座30件、道医認定生涯教育講座40件の計70件を承認。

第6号 第1回郡市医師会長協議会〔5月27日(土)〕の議題に関する件(三戸常任理事)

5月27日(土)午後4時から北海道医師会館におい

て開催する、第1回郡市医師会長協議会の提出議題を決定。

第7号 その他

(1) 6月行事予定に関する件（事務局）

報告事項

1. 都道府県医師会勤務医担当理事連絡協議会〔5月10日(水)〕について（藤井常任理事）

全国医師会勤務医部会連絡協議会について、昨年度担当の大阪府医師会の実施報告と、本年度担当の当会から小職が挨拶を行った。協議では「新たな専門医の仕組み」と「医療事故調査制度」をテーマに最近の動向ならびに支援団体活動に関する実態調査結果について話題提供があり、活発なディスカッションの後、医師の働き方について、政府の働き方改革実現会議が決定した働き方改革実行計画の概要と、質の高い医療提供体制の維持と医療現場の新たな働き方の実現を目指す方策について説明があった。参加者は109名であった。

2. 第90回日本産業衛生学会〔5月11日(木)～13日(土)・東京都〕について（生駒常任理事）

「産業保健近未来図」をメインテーマに開催された。小職が参加した2日目の公募シンポジウムでは「職域における総合的がん対策」をテーマに、国が進める対策と制度、職域でのがん教育の重要性・がん検診の特徴、がん労働者の就労支援、がん対策における産業医の役割について6名の演者から発言があり、ディスカッションが行われた。

3. 第1回都道府県医師会長協議会〔5月16日(火)・東京都〕について（小熊副会長）

新専門医制度と第7次医療計画(地域医療構想を含む)の2点に話題を絞って開催された。日医の各担当役員よりそれぞれのテーマに関する現状と課題について解説があった後、都道府県医師会より事前に提出された質問について回答が行われた。

4. 第1回北海道がん対策「六位一体」協議会〔5月17日(水)〕について（長瀬会長）

本道において2回目となる、北海道がんサミット2017について協議を行い、8月6日(日)午前10時、WEST19・5階講堂で開催することと決定した。また、本年3月に発足した道内のがん患者、患者会、患者支援団体の緩やかな連携組織「北海道がん患者連絡会」が構成団体に加わったことにより、今後は同連絡会を中心にプログラム等の詳細を検討していく予定。

5. 外部各委員会報告

(1) 北海道たばこ対策連絡協議会〔5月10日(水)〕について（後藤常任理事）

本協議会に参画している10団体からたばこ対策の取り組み状況について報告があり、北海道からは、北海道健康増進計画「すこやか北海道21」の見直しに係るたばこ調査を行うほか、超党派による道議会議員で構成する、がん対策北

海道議会議員の会に設置されている、北海道受動喫煙防止条例検討委員会が本協議会構成団体と意見交換会を開催する予定であることの説明があった。最後に、日本禁煙学会北海道支部より今月27日(土)15時30分から札幌駅前ビジネススペースで開催される、第14回北海道禁煙フォーラムへの参加と協力を各団体に求めた。

(2) 薬物乱用防止対策北海道推進本部会議〔5月11日(木)〕について（長瀬会長）

本会議に参画する22関係機関の薬物乱用防止対策関連事業の昨年度実施状況および本年度実施計画について報告があった後、北海道保健福祉部より平成29年度薬物乱用防止対策実施要綱(案)等の説明があり、提案どおり了承した。

(3) 第1回道央ドクターヘリ運航調整委員会〔5月18日(木)〕について（目黒常任理事）

昨年度に引き続き、委員長に小職が、副委員長に札幌医科大学救急医学講座教授・成松委員が選任された。本委員会では、昨年度の運航実績と運航実績報告書の作成ならびに、昨年9月から北広島市の要請にもとづき運行圏を拡大したラピッドレスポンスカーの運行実績について報告が行われた。その後、昨年8月の神奈川県でのドクターヘリ事故を受け、離着陸時の安全対策について協議し、従来同様、消防隊員などによる警戒支援体制の徹底、運航会社に対する安全運航の徹底に加えて、気象情報の確認強化などを行うこととなった。

6. 中央情勢報告（笹本常任理事）

〔自由民主党・一億総活躍推進本部〕「一億総活躍社会の構築に向けた提言」(平成29年5月10日)について

本報告書は、片山さつき参議院議員が事務局長を務める自由民主党・一億総活躍推進本部が、6つのプロジェクトチーム(「女性活躍・子育て・幼児教育PT」「産婦人科・小児科医師不足偏在問題対策PT」「65歳以上のシニアの働き方・選択の自由度改革PT」「IOHH活用健康寿命改革PT」「若者の雇用安定・活躍加速PT」「誰もが活躍する社会をつくるPT」)からの提言をまとめたもので、長期的かつ継続的な取り組みにより、多様な人材の多様な活躍のあり方を可能にし、皆が持てる力を十分に発揮することで、社会を支える国家づくりを目指すものであることを、小職より説明した。なお、これまで様々な提言が政策に反映されてきたことから、今後とも注視していくこととなった。

7. その他

(1) 北海道医報「報告原稿」について

(山科常任理事)

北海道医報の報告記事は、本誌の余白が生じないよう、原則2ページ以内とすることを説明した。

第2回理事会

日時 平成29年5月20日(土)16:00～17:45
場所 9階理事会室
出席者 (理事)長瀬会長、深澤・藤原・小熊各副会長、北野・三戸・目黒・藤井・山科・岡部・伊藤・生駒・後藤・林・笹本各常任理事、佐藤・恩村・阿久津・倉増・山下・稲葉・久島・千葉各理事
(監事)津田・藤瀬・篠島各監事
(代議員会議長・副議長)本間議長・稲川副議長
(日医オブザーバー)城委員、太田委員、上埜委員
(事務局:安達事務局長ほか18名)

1. 開 会 2. 会長挨拶 3. 報告事項

(1) 監査報告(内部:津田監事、外部:藤瀬監事)
協議事項第1号と併せて報告。

(2) 日医理事会報告(長瀬会長)

日本専門医機構理事会、警察庁高齢運転者交通事故防止対策に関する有識者会議、公認心理師カリキュラム等検討会等の報告の後、平成28年度日本医師会事業報告、平成28年度日本医師会決算、医賠償保険料の減額等につき協議した。また事前の理事打合せにおいて、医師法21条に関する日医の見解について、地域医療構想について、医師主導による医療機器開発のためのニーズ創出・事業化支援セミナーについての意見交換を行った。

(3) 日医各委員会報告

1) 産業保健委員会[2月17日(金)]について
(生駒常任理事)

産業医制度の在り方に関する検討会について報告があり、労働安全衛生規則等の一部を改正する省令案や、産業医研修ならびに実習科目に関する一部改正告示案の説明があった。また、ストレスチェック制度や産業保健活動に関するアンケート調査の案が示され、会長諮問「医療機関における産業保健活動推進のための具体的方策－医療の質と安全の向上を目指して－」に関するフリートーキングが行われた。

2) 医師会将来ビジョン委員会[2月25・26日(土・日)、4月22日(土)]について
(太田・上埜委員)

2月の第2回委員会では、プレゼンテーション「医療の今日的課題」として、小職より地域包括ケアにおける札幌市医師会の取り組みや、地域医療のICT化とその標準化につい

て発表を行った後、総括と今後の方向性について協議した。4月の第3回委員会では、プレゼンテーションの続きと、この委員会で取り組むべき、医療の今日的課題についてグループワークと総合討論を行った。

3) 代議員会財務委員会[5月2日(火)]について(藤原副会長)

第140回日医定例代議員会に提案される決算のうち「医師年金を除く貸借対照表」の資産合計、負債合計、正味財産合計の決算額について報告した。

4) 医師会共同利用施設検討委員会[5月12日(金)]について(伊藤常任理事)

すべての国民が共に支え合い、健やかで心豊かに生活できる活力ある社会の実現を目指すための基本的な方針「健康日本21(第二次)」をテーマに、厚生労働省健康局健康課・吉見逸郎たばこ対策専門官より講演があった。その後、会長諮問「2025年を見据えた医師会共同利用施設の展開－健康寿命の延伸に向けた新たな取組と地域における役割－」についてフリートーキングを行った。

5) 労災・自賠償委員会[5月18日(木)]について(深澤副会長)

自賠償診療では、柔整師の施術料(療養費)の受領委任契約の審査基準が厳しくなった一方で、あはき施術料の受領委任の適用拡大について協議していくこと、また、新基準の全国採用を足掛かりとして、制度策定に向けて取りまとめること、労災診療については従来からの問題点を再確認し、引き続き、細部項目を充分検討していくこととした。

(4) その他

1) 選挙管理委員会委員の変更について
(三戸常任理事)

中央ブロックおよび後志ブロックより選出されている標記委員につき、変更があったことを報告した。

2) 受動喫煙防止対策を強化・実現のための署名活動について(後藤常任理事)

2020年の東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、たばこ対策に抜本的に取り組む姿勢を世界に示すこと等を目的に日医が署名活動を実施することとなった。全国民を対象として100万人分以上の署名を集めることを目標としており、集めた署名をもとに、厚生労働大臣や衆参両院の議長等に働きかけを行う予定である。

4. 承認事項

(1) 母体保護法指定医師審査委員会委員の委嘱について(三戸常任理事)

北海道の人事異動に伴い、北海道庁からの選

出委員1名の交代について承認。

(2) 外部各委員会等委員の推薦について

(三戸常任理事)

前回の理事会(4月15日)以降推薦依頼のあった、北海道保健福祉部所管の北海道社会福祉審議会地域福祉支援計画専門分科会臨時委員に藤原副会長を推薦したことを承認。

(3) 社会保険診療報酬支払基金北海道支部審査委員会委員の推薦について(笹本常任理事)

関係郡市医師会、専門医会から推薦のあった診療担当者代表50名(委嘱時の年齢70歳未満)を、支払基金支部長に推薦することを承認。任期は、平成29年6月1日から平成31年5月31日の2年間。

5. 協議事項

第1号 平成28年度決算に関する件(北野常任理事)

平成28年度会計について、決算財務諸表等ならびに内部管理資料を慎重に審議した結果、28年度決算を提案どおり承認し、6月17日(土)に開催する第149回定時代議員会に上程することと決定。

第2号 平成28年度公益目的支出計画実施報告書に関する件(三戸常任理事)

当会は一般社団法人として、北海道公益認定等審議会が確定した当会の公益目的財産額の支出が完了するまでは、各事業年度の決算時に公益目的支出計画実施報告書を作成し北海道に提出する必要がある

ため、平成28年度も提案どおり実施報告書を北海道に提出することと決定。

第3号 平成29年度「事前確定届出給与に関する届出書」に関する件(北野常任理事)

当会役員のうち、収益事業に係る役員12名の給与・期末手当を、当会の税務上の損金と認めてもらうため「事前確定給与に関する届出書」を税務署に提出することと決定。

第4号 北海道医師会館中長期保全改修工事施工業者に関する件(北野常任理事)

三社による相見積もりなどを慎重に審議した結果、大成建設株式会社へ改修工事を発注することと決定。

第5号 第149回定時代議員会ならびに第150回臨時代議員会[6月17日(土)・18日(日)]の開催に関する件(三戸常任理事)

6月17日(土)午後3時から第149回定時代議員会、6月18日(日)午前10時から第150回臨時代議員会を北海道医師会館8階会議室において開催することと、それぞれの提出議題を決定。

第6号 理事提案事項

特になし。

6. 道総医協関連事項(深澤副会長)

平成29年度第1回理事会(4/15)報告以降に開催された会議について報告した。

7. 閉会

お知らせ

平成29年度看護師特定行為 研修指導者講習会の開催について

◇医療関連事業部◇

厚生労働省では、「看護師の特定行為に係る指導者育成事業」を全日本病院協会へ委託し、今年度は東京・大阪で計10回の講習会を開催することとなりましたのでお知らせいたします。

各講習会の詳細につきましては、全日本病院協会の以下のホームページをご参照願います。

【全日本病院協会ウェブサイトURL】

<http://www.ajha.or.jp/seminar/tokuteikoui/>